別冊

（報告）ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2021年9月24日

《目次》

１．2021年度ユーザー理解活動の計画 ・・・・ P2

２．ユーザーを対象としたアンケート調査結果 ・・・・ P5

３．ユーザーの関心事に応じた情報発信の取組み ・・・・ P7

４．公式ウェブサイトを利用して幅広くユーザーに情報を届ける取組み ・・・・ P8

５．ユーザー向け広報冊子の制作・配布 ・・・・ P10

６．地域ユーザーに向けた普及啓発の取組み ・・・・ P11

７．小学生とその保護者を対象とした環境学習の支援 ・・・・ P12

８．若者を対象とした自動車教習所での取組み ・・・・ P13

９．動画コンテンツを使った関心を得る取組み ・・・・ P14

１０．活動費の執行状況(第１Q) ・・・・ P15

1．2021年度ユーザー理解活動の計画 その１

【目的】

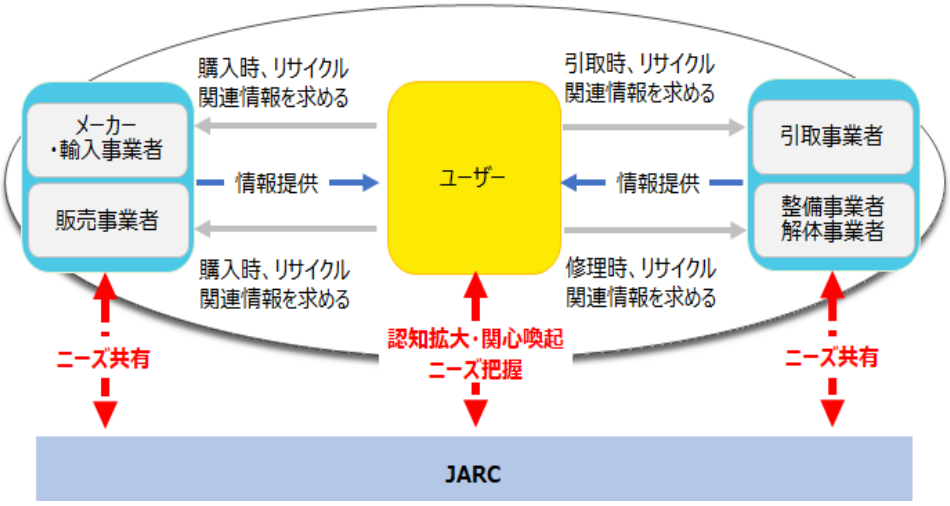
- 2015年11月から6回に亘り行った自動車リサイクルの関係者による情報発信・共有の在り方等に関する議論を踏まえ、ユーザー理解活動を通じて**自動車リサイクル制度の安定運用**を図り、そして自動車売買時におけるリサイクル料金の収受など**ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与**していくことを目的とする。

【取組みの方針】

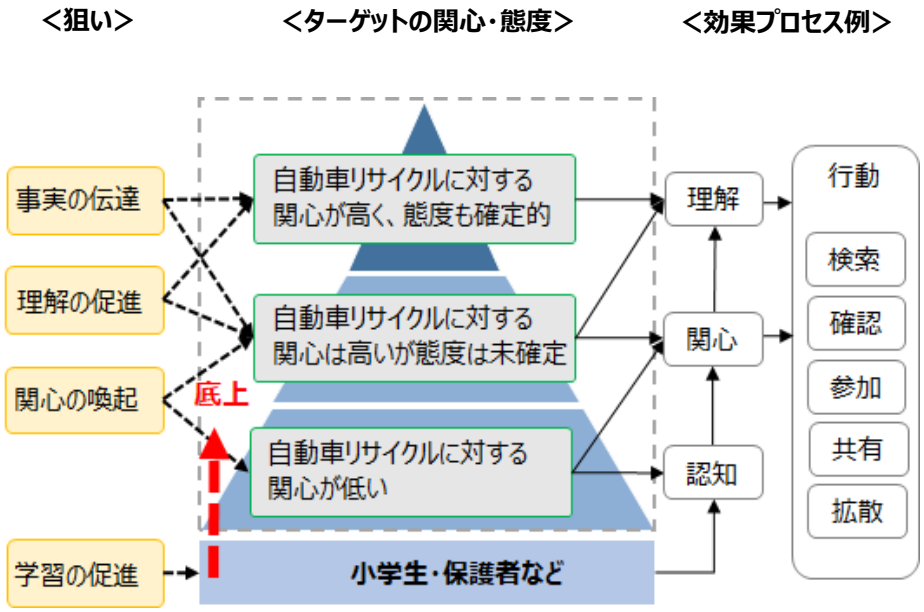
- 地域・年齢などのターゲットの特性を意識するとともに、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供していくことにより、ユーザーの認知拡大と関心喚起を図る。
- SDGsなどによる人々の意識の変化やライフスタイルの変化をはじめとした自動車を取り巻く環境変化により顕在化した新たな課題に対応した施策を展開する。

ユーザー理解活動の目的に関する概念図

●自動車リサイクル制度の安定運用
●ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与



ユーザーの関心・態度に合わせた展開図



1．2021年度ユーザー理解活動の計画　その２

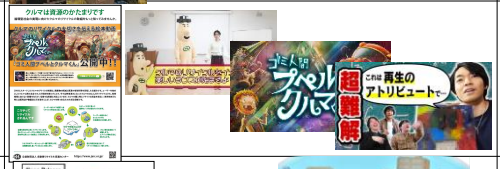
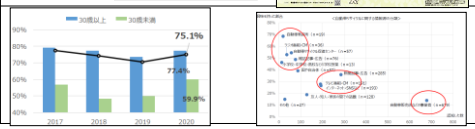
取組みの方向性とターゲットの関係

取組みの方向性	取組例	主なターゲット					
		～10代	20代	30代	40代	50代	60代～
➢ 分かりやすい情報へと改善を推進 ➢ ユーザーニーズに応じた情報発信 ➢ タイムリーに情報発信	‣ ウェブページ掲載情報の改善 ‣ ちらしなどの広報ツールの改善(*1)	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●
➢ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➢ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起	‣ 地域イベントへの出展・参加 ‣ 常設展示施設での情報発信 ‣ オンラインページの設置及び発信	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	●	●
➢ 子どもたちの学びの機会創出 ➢ 子どもの保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起	‣ 関係者の努力・工夫を紹介 ‣ 学校教育に役立つ情報提供 ‣ 作品コンクール実施	● ● ●		● ● ●	● ● ●		
➢ 若年層の認知拡大・関心喚起	‣ 運転免許学科教本への情報掲載 ‣ 教習所での動画コンテンツの配信	● ●	● ●				
➢ 施策の相乗効果を得るメディアの活用 ➢ 音と映像による関心喚起 ➢ ユーザーの関心事に応じてユーザーの知る機会の創出	‣ ニュースリリースの積極配信 ‣ 動画等コンテンツの配信 ‣ 定期刊行物による情報発信 ‣ ネットメディアの活用(SNS等)	 ●	 ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	 ●
➢ ユーザーニーズや施策による変化把握 ➢ 施策の改善に向けた基礎情報の収集	‣ 認知度調査、効果測定　等(*2)	●	●	●	●	●	●

*1 必要な時（自動車購入時、修理時、廃車時等）に必要とする情報
*2 定点観測で行うアンケート調査等

1．2021年度ユーザー理解活動の計画　その３

活動スケジュール

取組例	スケジュール			
	1Q	2Q	3Q	4Q
・ウェブページ掲載情報の改善 ・ちらしなどの広報ツールの改善		タイムリーな情報発信・改善 新冊子制作 ★	新冊子制作 ★	
・地域イベントへの出展・参加 ・常設展示施設での情報発信 ・オンラインページの設置及び発信		協議調整 8月・10月、トライルイベント 要件定義 準備制作	地域イベント出展 開設 ★ サービス開始、集客活動	
・関係者の努力・工夫を紹介 ・学校教育に役立つ情報提供 ・作品コンクール実施		計画 準備・実施 協議・調整 後援名義取得・準備 個別訪問表彰・協議・実施	メーカーLive授業 ★ 準備・実施 作品募集 表彰式準備	ヒアリング 表彰式 ★
・運転免許学科教本への情報掲載 ・教習所での動画コンテンツの配信		情報掲載 動画配信 動画配信 アンケート実施 ★	動画配信 新動画検討 アンケート実施 ★	
・ニュースリリースの積極配信 ・動画等コンテンツの配信 ・定期刊行物による情報発信 ・ネットメディアの活用(SNS等)		積極的な情報発信 BSデジタル放送 地上波放送、他 計画 準備制作 ★ 日刊自動車新聞情報掲載 Google・Twitter広告	BSデジタル放送 準備制作 ★ SNS活用	準備制作 ★
・認知度調査 ・効果測定　等		準備調査 ★ 各施策の反響確認	準備・調査	

２．ユーザーを対象としたアンケート調査結果

- ユーザーを対象としたアンケートの結果、ユーザーの自動車リサイクルについての認知度は**約75%**(前年71%) 。
- その内、「自動車購入時にリサイクル料金を支払うことを知っている」と回答した方の割合は**約74%**(前年69%)。
  ※詳細は、「2020年度自動車ユーザーへのアンケート調査結果」 を参照。（URLは こちら ）

（１）調査の概要

１） 調査の対象
・過去３ヶ月以内に自動車を購入した全国18歳以上の男女

２） 調査の方法
・本財団の委託事業として、株式会社インテージが実施
・調査会社のパネルから無作為に抽出
・インターネット調査方式
・調査期間は2021年5月15日(土)から21日(金)

３） 調査の内容
自動車ユーザーの自動車リサイクル制度への関わり方について４点
①自動車ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況
②自動車購入時における自動車ユーザーの関わり方
③中古車売却時における自動車ユーザーの関わり方
④廃車時における自動車ユーザーの関わり方

４） 回答者の属性
・年齢別運転免許保有割合(出典：令和２年度警察庁)を参考にした割付を実施。サンプル数は合計1,722件。
・回答者1,722人の68%が過去３ヶ月以内に新車を購入。32%が中古車を購入。

（２）結果の概要

①自動車ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況
回答者の内(1,722人)、「自動車リサイクルの仕組みを知っている」または「名前を聞いたことがある」と回答した方は75%。その認知されている方の内、自動車購入時、リサイクル料金を支払うことを知っている方は74%。リサイクル料金の使途を知っている方は33%。

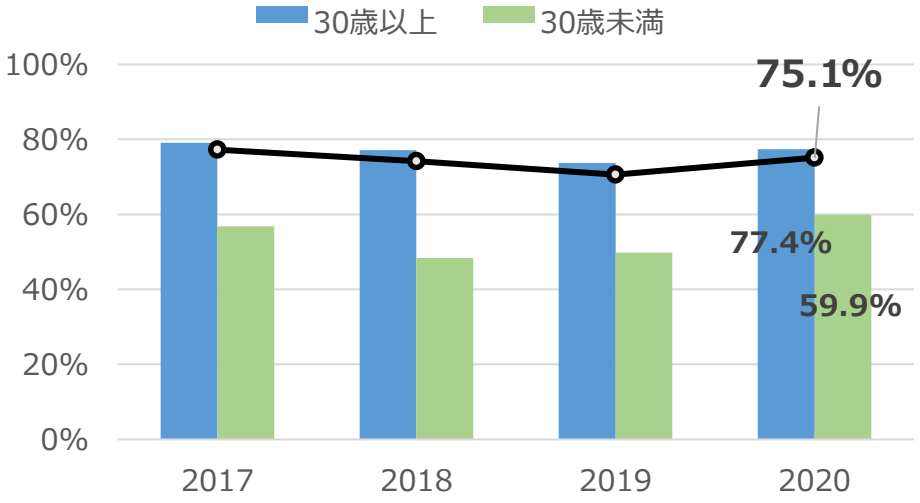
②自動車購入時における自動車ユーザーの関わり方
回答者の内(1,722人)、自動車購入時、リサイクル料金を支払ったことを記憶している方は66%。また、自動車購入時、リサイクル料金の説明を受けたことを記憶している方は41%。

③中古車売却時における自動車ユーザーの関わり方
自動車売却時(789人)、自身の自動車にリサイクル料金が支払われていたことを記憶している方は48%。
その記憶ある方の内、自動車売却時、相手から「リサイクル料金相当額」を受け取ったことを記憶している方は47%。

④廃車時における自動車ユーザーの関わり方
自動車廃車時(139人)、引取を依頼した相手から「使用済自動車引取証明書」の交付を受けたと回答した方は23%。

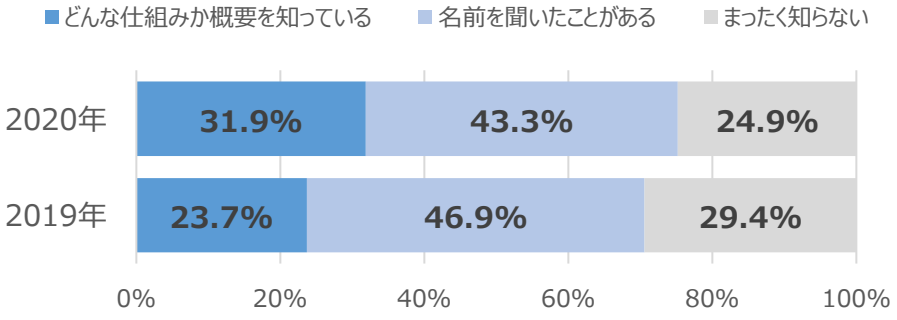
（3）参考情報

ユーザーの認知度の推移

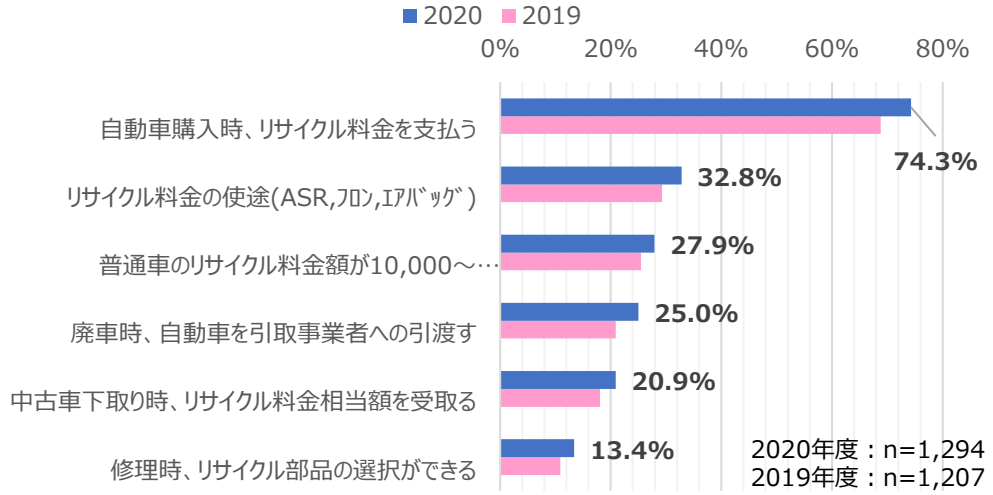


認知度に関する設問と回答結果

（設問）あなたは、2005年から施行された「自動車リサイクル制度」をご存知ですか。

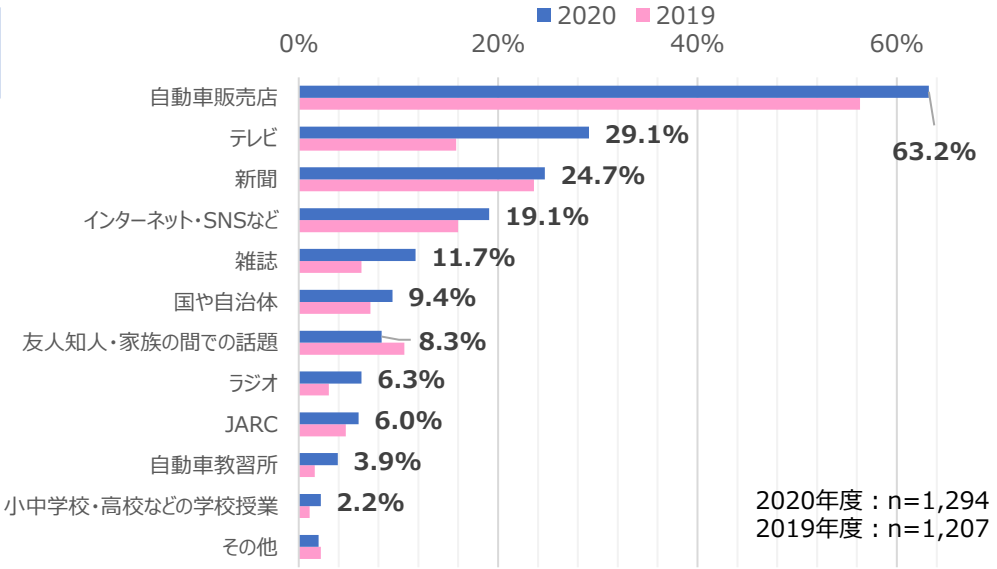


自動車リサイクルについて知っている内容例



自動車リサイクルを知った認知経路

（設問）自動車リサイクル制度のことを知った情報源は何ですか。
次の中から、あてはまるものを全て選択してください。（複数選択）



3．ユーザーの関心事に応じた情報発信の取組み

8/26、ベストカー（発行部数：約24万部、発行：株式会社講談社ビーシー）へ自動車リサイクルに関する企画記事を掲載し、自動車に関心もつ30代から50代のユーザーの認知拡大と関心喚起を図った。

*記事URL：https://www.jarc.or.jp/renewal/wp-content/uploads/2021/08/49bf005efc75c2c190550dd07ca18c50.pdf

４．公式ウェブサイトを利用して幅広くユーザーに情報を届ける取組み

JARCの公式ウェブサイトを利用して、自動車リサイクルの取組みや活動状況をタイムリーに発信している。
また、今年度から次の施策にもトライアルで取り組んでいる。

- インターネット検索サイトに掲載する広告を通じて、ユーザーのJARCウェブサイトへの誘導を図る。
- SNS活用により、ユーザーの自動車リサイクルに関する情報への接触機会の拡大を図る。

第５回「クルマのリサイクル」作品コンクール作品募集開始（期限：2/28）

科学技術館（東京都千代田区）にて2020年度に行った第4回「クルマのリサイクル」作品コンクール入賞作品を展示しました。**（期間中約1万5千人が来場）**
期間　：　7月22日から8月31日
会場　：　科学技術館4階サイエンスギャラリー
所在地：　東京都千代田区北の丸公園2番1号

4月12日、2020年度に行った第4回「クルマのリサイクル」作品コンクールにおいて団体賞を受賞した東京品川区立八潮学園を訪問し、表彰を行いました。
※新型コロナの影響により中止とした表彰式の代替の取組みです。

『自動車リサイクルデータBook2020』を公表。
過去10年間に自動車リサイクルシステムに蓄積されたデータ及び関係団体等が有するデータを基に、自動車リサイクルを取り巻く状況をまとめた。

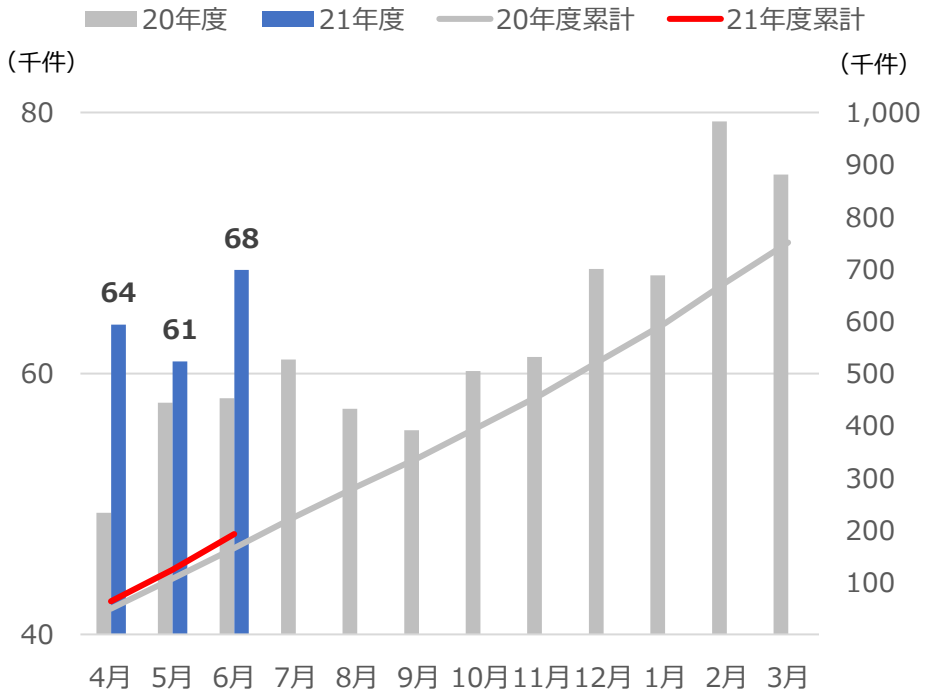
2021年4月から6月における公式ウェブサイトへのアクセス数は**192千件** (前年同期116.6%)であった。
各種動画ページや作品コンクールページへのアクセス増をはじめ、SNSからのアクセスも徐々に増えている。

（1）ウェブサイトへのアクセス状況

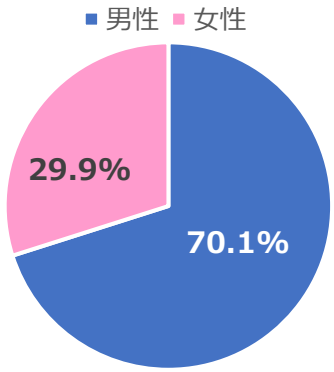
（単位：千件）

	年度		
	2019(第1Q)	2020(第1Q)	2021(第1Q)
アクセス数	159	165	192

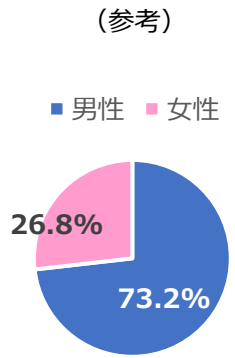
（2）ウェブサイトへのアクセス数の推移



（3）男女比

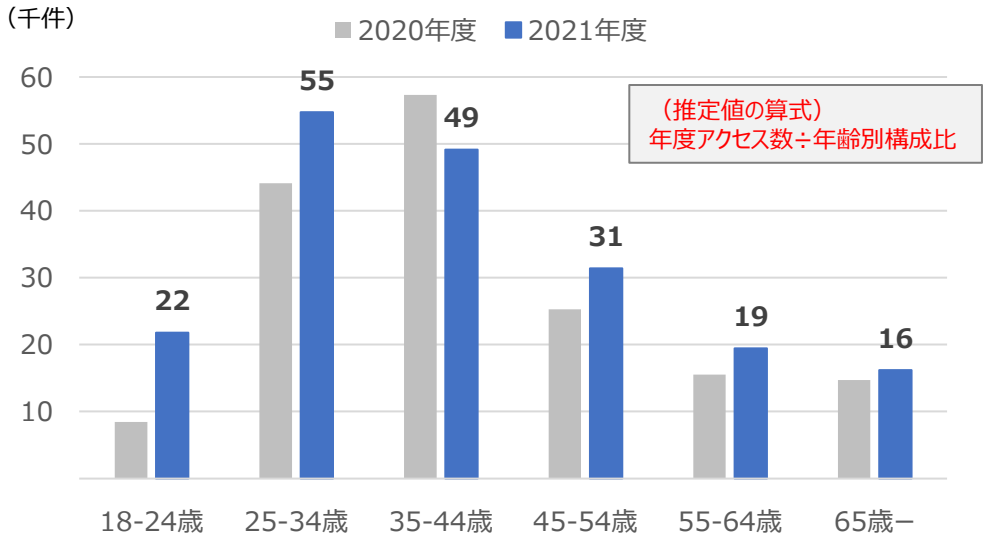


2021年度（4月～6月）



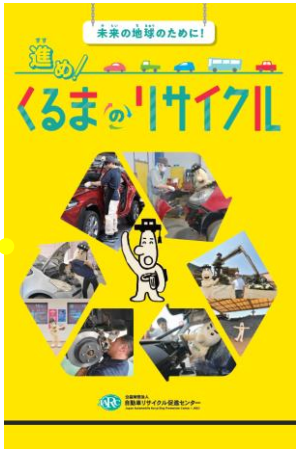
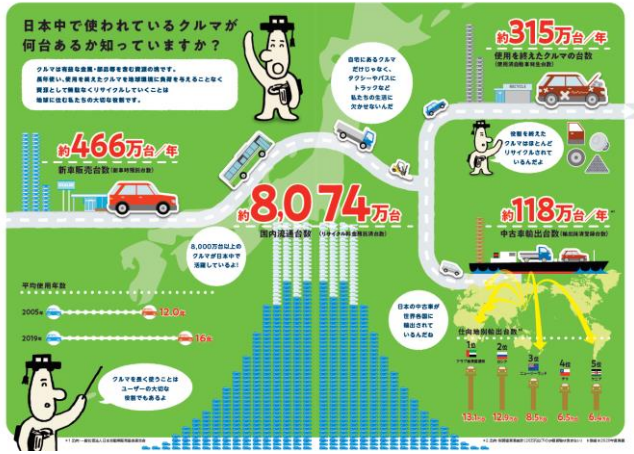
2020年度(4月~6月)

（4）年齢別アクセス数（推定値）



5．ユーザー向けの広報冊子の制作・配布

新たにユーザー向けの広報冊子を2種類制作し、これらを小学校、環境施設、事業者などに配布している。

タイトル	概要	冊子イメージ
進め！くるまのリサイクル （URL） https://www.jarc.or.jp/renewal/wp-content/uploads/2018/10/096e58b4b8441c705c41db868c681dc0.pdf	循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取組みを紹介した冊子	
数字で考えるクルマのリサイクル （URL） https://www.jarc.or.jp/renewal/wp-content/uploads/2018/10/jarc_factbook.pdf	自動車リサイクルの取組みを数値で紹介した冊子	

6．地域ユーザーに向けた普及啓発の取組み

- 自治体等が主催する地域イベントへの出展を通じて、地域ユーザーに向けた普及啓発に取り組んでいる。
- 地域イベントで展示しているコンテンツを何時でも・何処でも、分かりやすく閲覧・視聴できる自動車リサイクルのオンラインページを企画・制作しているところである。

<8/17時点：出展計画と取組み状況>

エリア	開催地	イベント名	開催予定	状況	備考
北海道	函館市	函館エコフェスタ	－	中止	
東北	秋田市	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	－	中止	
	仙台市	エコフェスタ仙台	10月	○	オンライン
関東	東京	エコプロ	11月	○	
	経済産業省	経済産業省こどもデー	8月	○	オンライン
北陸	金沢市	いしかわ環境フェア	－	中止	
中部	名古屋市	環境デーなごや中央行事	9月	○	オンライン
近畿	京都市	京都環境フェスティバル	12月	○	
	姫路市	ひめじ環境フェスティバル	9月	○	
	長岡京市	長岡京市環境フェア 2021	11月	○	
中国四国	松江市	松江市環境フェスティバル	－	中止	
	広島市	「環境の日」広島大会	6月-7月	○	オンライン
	松山市	松山環境フェア	10月	○	
九州	福岡市	環境フェスティバルふくおか	10月	○	
	北九州市	エコライフステージ	11月	○	オンライン
	鹿児島市	環境フェスタかごしま	10月	○	
沖縄	那覇市	エコライフおきなわ	1月	○	オンライン

7．小学生とその保護者を対象とした環境学習の支援

自動車リサイクルの関係者の協力を得て取組む自動車リサイクルの現場を紹介する施策を年６回実施することとしており、現在、関係者と協議を行いながら取組みを進めている。また、全国小学生を対象とした第５回「クルマのリサイクル作品コンクール」については、9月1日から作品の募集を開始した（募集期限：2022年2月末）。

（１）実施計画

自動車リサイクルの6団体の協力を得て取組みを進める。

観点	ご協力をいただく関係団体・事業者	
自動車製造業者の取組み	**日本自動車工業会**	愛知県の事業者
自動車販売事業者の取組み	**日本自動車販売協会連合会**	兵庫県の事業者
オークション会場の取組み	**日本中古車販売協会連合会**	長野県の事業者
自動車整備事業者の取組み	**日本自動車整備振興会連合会**	岡山県の事業者
解体事業者の取組み	**日本自動車リサイクル機構**	北海道の事業者
破砕事業者の取組み	**日本鉄リサイクル工業会**	青森県の事業者

入札の結果、『毎日小学生新聞』の支援を得ることとなった。

毎日小学生新聞

※創刊1936年、発行部数：約10万部（日刊紙）
※特徴：社会を学ぶ、受験に役立つ

（２）クルマのリサイクル作品コンクール

6月、全国小学校に事前案内を行い、9/1から作品の募集を開始した。

８．若者を対象とした自動車教習所での取組み

自動車教習生に向けて自動車リサイクルに関する認知を広げる取組みを行っている。
4月から6月までの3か月間で、運転免許学科教本**約15万4千部**に自動車リサイクルに関する情報を掲載し、全国250か所の教習所にて動画コンテンツを**約22万5千回**配信した。

（１）運転免許学科教本への掲載情報

（２）配信中の動画コンテンツ

くるくるダンスで自動車リサイクルを学ぼう！

https://www.jarc.or.jp/dance/

絵本動画 『ゴミ人間プペルとクルマくん』

https://www.jarc.or.jp/book-video/

QuizKnockと一緒に自動車リサイクルを学ぼう！

https://www.jarc.or.jp/quiz/

９．動画コンテンツを使った関心を得る取組み

- BSデジタル放送の視聴者に向けて動画を配信し、自動車リサイクルの認知拡大を図る。
- 地域イベントへの出展のタイミングで、地上デジタル放送の視聴者に向けて動画を配信し、地域ユーザーの自動車リサイクルの認知拡大を図る。

（１）BSデジタル放送での動画配信計画

日時を固定し、特定の番組で動画を配信し、特定の視聴者の自動車リサイクルについての認知を広げる。

配信エリア	区分	配信期間	番組名	放送局、配信帯	配信回数	番組の特徴
全国	BS	4月から9月	BSフジプライムニュース	BSフジ、月から金20時から	130回	BS局初報道番組として地上波ニュース番組との差異を認知されている番組
全国	BS	10月から3月	日経モーニングプラスFT	BSテレビ東京、月から金7時から	130回	日経新聞や英国「フィナンシャル・タイムズ」(FT)と連携した国内外のニュース
全国	BS	10月から3月	おぎやはぎの愛車遍歴	BS日テレ、土曜日21時から	26回	「愛車遍歴を辿れば、その人の人生が見えてくる！」 カートークバラエティ

（２）地上デジタル放送での動画配信計画

地域イベントへの出展のタイミング等で動画を配信し、地域ユーザーの自動者リサイクルについての認知を広げる。

配信エリア	区分	配信期間(予定)	獲得延べ視聴率	放送局、配信帯
北海道	地上	1月以降	各都道府県における世帯視聴率600%以上	各都道府県における放送局1局又は2局以上で配信
東北	地上	9月3日から9月30日		
北陸	地上	8月21日から9月17日		
中部	地上	9月3日から9月30日		
近畿・東海	地上	9月20日から10月17日		
中国・四国	地上	8月21日から9月17日		
九州・沖縄	地上	10月4日から10月31日		

配信動画
「自動車リサイクル 地球もクルマも回ってる」編

１０．活動費の執行状況（第１Ｑ）

2021年4月から6月末（第１Ｑ）までにユーザー理解活動に要した費用は、2,127万円(執行率87.0%)であった。主として計画していた地域イベントが中止になったために執行率は低くなった。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組の方向性	施策例	年度計画額	第1Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	●自治体と共に取り組む地域イベントへの出展 ●常設展示施設での情報提供　他	2,350	349	139	39.7%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	●関係者と共に取り組む自動車リサイクルの紹介 ●作品コンクールを通じての理解普及 ●自動車教習生の認知拡大	8,050	864	885	102.4%
3	各種メディアを活用して露出を高める	●動画配信による認知拡大と関心喚起 ●ユーザーの関心事に応じた情報提供	12,500	945	910	96.3%
		●ニュースリリースの積極的配信 ●その他のパブリシティ活動	0	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	●公式ウェブページ等での情報提供 ●チラシ・ポスター等の広報ツールの制作	1,650	185	109	58.7%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	●ユーザーの認知状況の把握 ●情報発信の効果検証　他	650	100	84	84.1%
6	広報・ＰＲの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	●新規取組の実務支援 ●リスク低減の観点での支援　他	1,000	0	0	-
合　計			26,200	2,443	2,127	87.0%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない。 ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

https://www.jarc.or.jp/